

市民・利用者調査の結果概要について

1. 調査の目的

木津川市における公共交通機関の利用状況や、公共交通分担率・公共交通サービスの満足度等の把握を行うとともに、「第2次木津川市地域公共交通網形成計画」の骨子案に対する意見及びこれから公共交通施策への考え方などを調査することを目的とする。

2. 調査実施概要

調査は、多くの市民を調査対象とした市民調査、コミュニティバスの利用者を対象とした利用者調査の2種類を実施した。

①市民調査

項目	詳 細
調査名称	木津川市の公共交通に関する調査
対象	18歳以上の市内居住者
抽出手法	住民基本台帳より無作為抽出
配布回収方法	郵送配布／郵送回収
配布件数	5,487件（木津地域3,824件、加茂地域1,042件、山城地域621件）
回収件数	2,101件（木津地域1,437件、加茂地域424件、山城地域240件）
回収率	38.3%（木津地域37.6%、加茂地域40.7%、山城地域38.6%）
調査実施時期	令和元年10月28日～11月18日

■参考

木津川市地域公共交通網形成計画【第1次計画】

市民アンケート

配布件数	3,194件（木津地域2,164件、加茂地域638件、山城地域392件）
回収件数	1,224件（木津地域792件、加茂地域247件、山城地域255件、不明30件）
回収率	38.3%（木津地域36.6%、加茂地域38.7%、山城地域39.5%）
調査実施時期	平成26年7月17日～8月1日

②利用者調査

項目	詳 細
調査名称	きのつバス・かもバス・やましろバス利用者調査
対象	コミュニティバス利用者
配布回収方法	<p>□配 布</p> <ul style="list-style-type: none"> ●きのつバス・かもバス当尾線 <ul style="list-style-type: none"> ・乗降者する利用者へ直接配布 ●かもバス（当尾線以外）・やましろバス <ul style="list-style-type: none"> ・バス車内にて乗務員より利用者へ直接配布 <p>□回 収</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査員の直接回収または郵送回収
回収件数	<ul style="list-style-type: none"> ・きのつバス 110 件 ・かもバス 20 件 ・やましろバス 50 件 ・合 計 180 件
調査実施時期	<p>きのつバス・かもバス当尾線：10月28日（月）</p> <p>上記以外：10月23日（水）～11月5日（火）</p>

■参考

木津川市地域公共交通網形成計画【第1次計画】

利用者アンケート

対象路線	回収数
きのつバス	120
かもバス	15
やましろバス	15
合 計	150

3. 一部調査項目の取り扱いについて

市民調査票の文面に誤りがあることが判明したため、一部調査項目を下記のとおり取り扱います。

■誤表記部分

質問5 これからの公共交通の施策について

①市のコミュニティバスの必要性について、あなたの考えをお答えください。(あてはまるもの全てに○)

【コミュニティバスの運行には、利用者1人1回あたり約500円の税金を負担しています。(平成30年度)】

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. ないと生活に支障をきたすので必要 | 2. ないと外出の機会が減るので必要 |
| 3. 家族や知人が利用しているので必要 | 4. 地域の移動手段、地域づくりとして必要 |
| 5. 今は困らないが、高齢になった時など将来的に必要になる | 6. なくても代わりの交通手段で移動できる |
| 7. なくても全く困らない | 8. わからない |
| 9. その他() | |

正	誤
コミュニティバスの運行には、利用者1人1回あたり約320円の税金を負担しています。(平成30年度)	コミュニティバスの運行には、利用者1人1回あたり約500円の税金を負担しています。(平成30年度)

■誤表記の内容

コミュニティバスの税負担額は約320円であり、約500円は運行コスト（経常経費÷利用者数）となる。

■回答結果の取り扱いについて

誤表記により正確な回答の集計ができない恐れがあるため、当該項目については、回答結果を計画に反映せず、参考数値としても公表しないこととする。

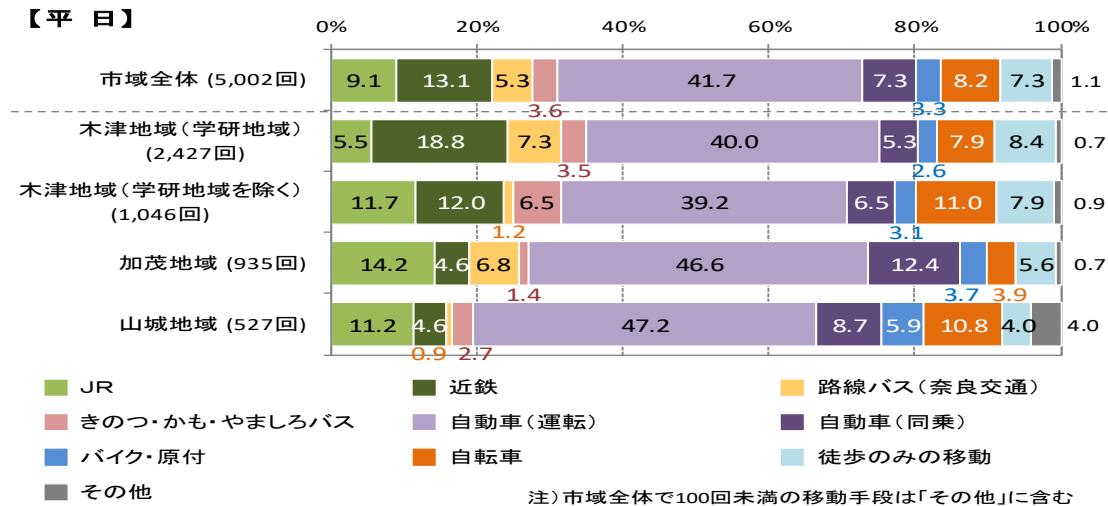
他の質問項目については、税負担額との関りが薄く、回答に影響を与えることがないと考えられるため、計画への反映や調査結果の公表を行う。

■誤表記の周知について

きづがわ公共交通だより2月号において、主な調査結果の掲載とともに、誤表記に係るお詫びと訂正文を掲載する。

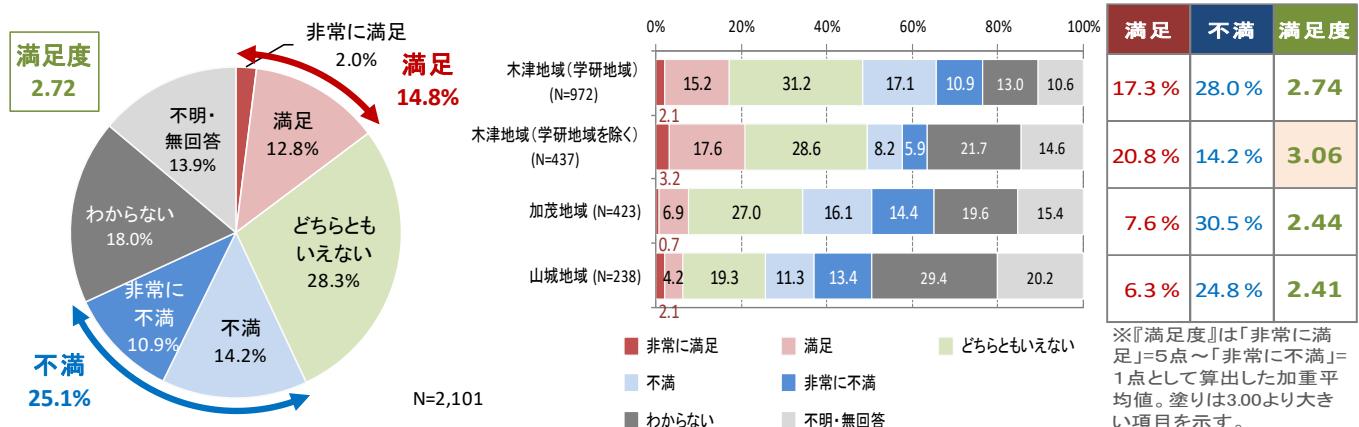
4. 市民調査結果（抜粋）

（1）公共交通分担率（平日）



- 市全体の公共交通の分担率は 31.1%、自動車分担率は 49.0%。
- 平成 22 年に実施したパーソントリップ調査と比較すると、自動車の分担率はほぼ同程度の割合であるのに対し、公共交通の分担率は上昇している。

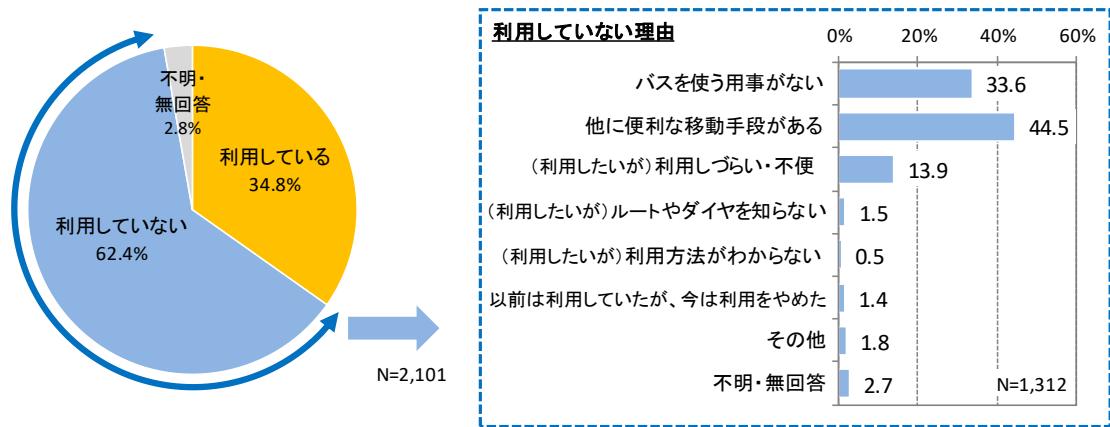
（2）公共交通の全体の満足度



- 公共交通全体の満足度 2.72
- 地域別満足度 木津（学研）2.74、木津3.06、加茂2.44、山城2.41
- 木津地域に比べ、加茂地域、山城地域の満足度が低い。

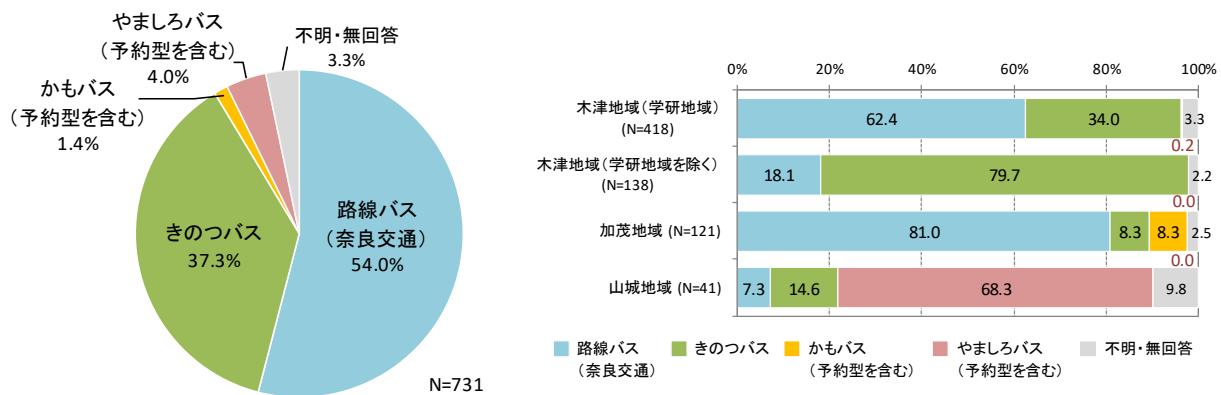
(3) 路線バス・コミュニティバス

①路線バス・コミュニティバスの利用状況



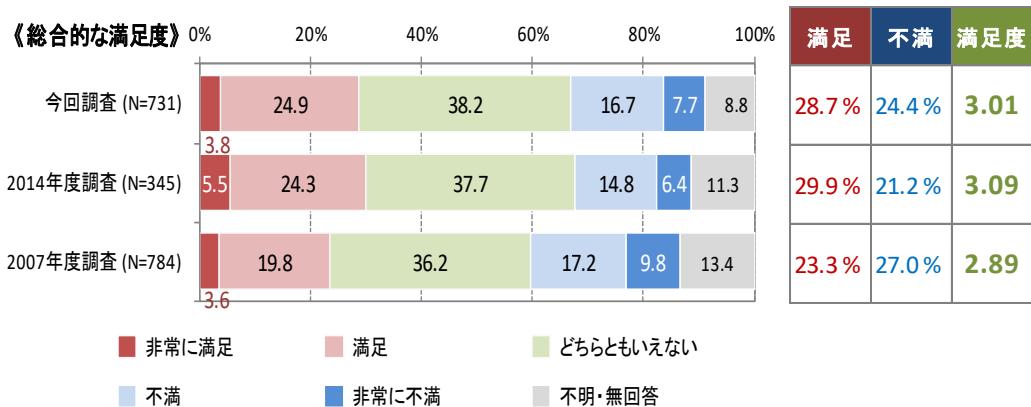
- 路線バス・コミュニティバスを利用している方が 34.8%、利用していない方が 62.4% となっている。
- 利用していない理由として、「他に便利な移動手段がある」の回答が最も多く、自動車等の保有によるものと考えられる。
- 次順の「バスを使う用事がない」については、宅配サービスの充実や家族送迎によりバスの利用機会が減少していると考えられる。

②よく利用する路線



- 市全体で最もよく利用する路線は、「路線バス（奈良交通）」であり、地域別では、加茂地域が最も高い割合となっている。
- 木津（学研以外）、山城地域では、「路線バス（奈良交通）」に比べ、コミュニティバスの利用が高い。

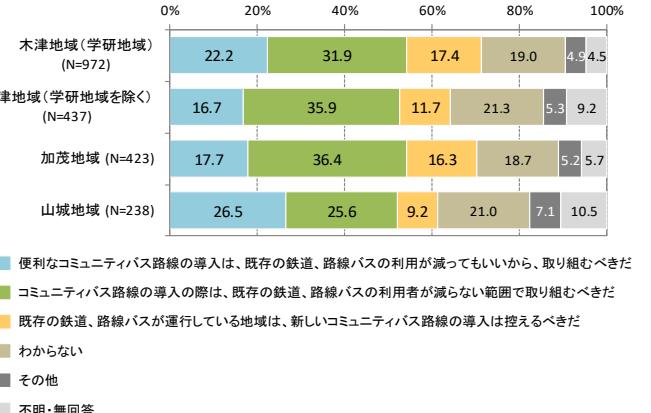
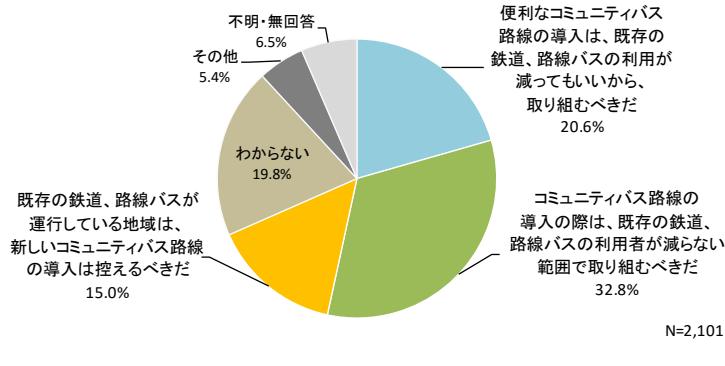
③利用路線の満足度



- 総合的な満足度は、「満足」が「不満」を上回っているが、前回調査と満足度を比較するとやや低下した結果となっている。
- 「どちらともいえない」との回答が38.2%と最も高い割合となっている。

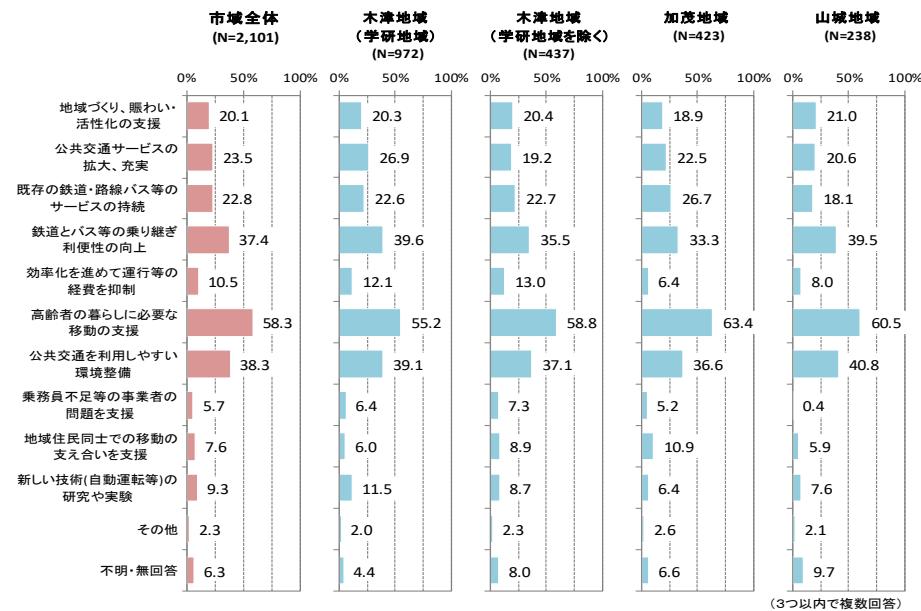
(4) 公共交通施策について

①コミュニティバスの新規路線導入に対する考え方について



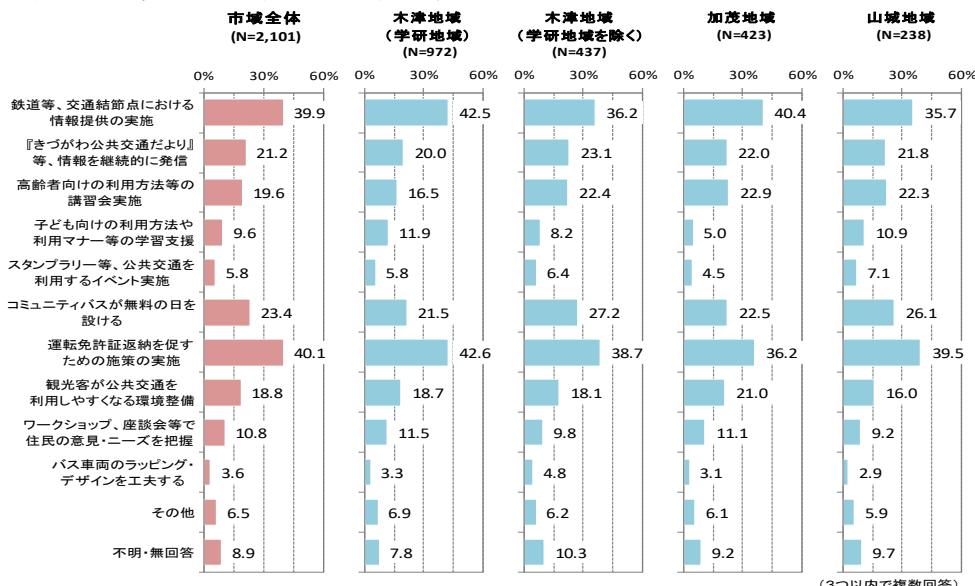
- 新規路線の考え方として、「利用者が減らない範囲で取り組むべき」(32.8%) 及び「運行している地域は路線の導入を控えるべき」(15.0%) といった競合路線が望ましくないとの意見が、「利用が減っても取り組むべき」(20.6%)との新規路線導入の肯定的な意見に比べ、約2.3倍と高い割合となっている。
- 特に加茂地域では競合路線が望ましくないといった意見が、新規路線導入の肯定的な意見の約3倍と高い割合となっている。
- この結果を踏まえ、新規路線の導入には、他の公共交通に影響を与えない範囲とする必要がある。

②公共交通施策において、特に重要と考えるキーワード



- 回答に地域差はなく、「高齢者の暮らしに必要な移動の支援」、「公共交通を利用しやすい環境整備」、「鉄道とバス等の乗り継ぎ利便性向上」の順に割合が高い。
- 第2次計画骨子施策である『利用機会の提供』、『情報提供の充実』、『乗継利便性の向上』を重点的に進めていく必要がある。

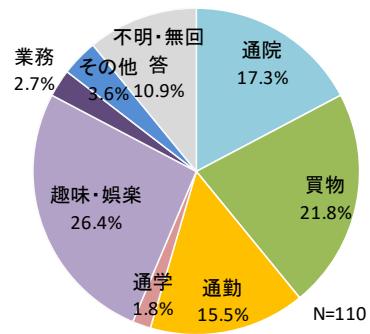
③利用促進施策として特に重要と考えるキーワード



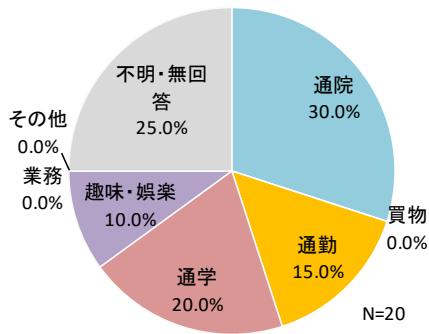
- 回答に地域差はほぼなく、「運転免許証返納を促すための施策」、「鉄道等、交通結節点における情報提供の実施」、「コミュニティバスが無料の日を設ける」の順に割合が高い。
- 上位のキーワードは、第2次計画の具体的な取り組みとして重点的に進めていく必要がある。

5. 利用者調査結果（抜粋）

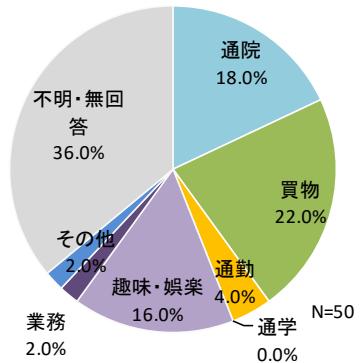
（1）利用目的



【きのつバス】



【かもバス】

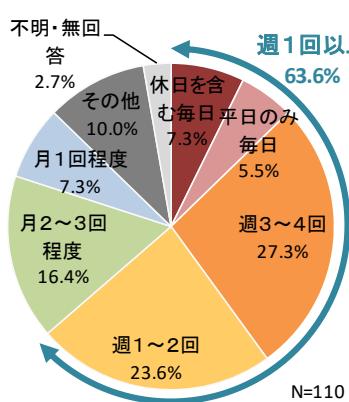


【やましろバス】

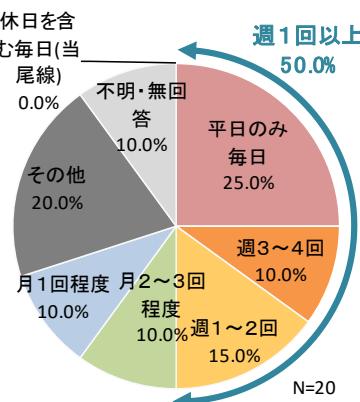
- 路線ごとに外出目的は異なり、きのつバスでは「趣味・娯楽」の利用が最も高いのに対し、かもバスでは「通院」、やましろバスでは「買物」となっている。
- すべてのコミュニティバスにおいて、鉄道間での乗降が多くなっており、特にJRへの乗り継ぎが高いのに対し、JRからの乗り継ぎは少ない。

（2）普段のバス利用

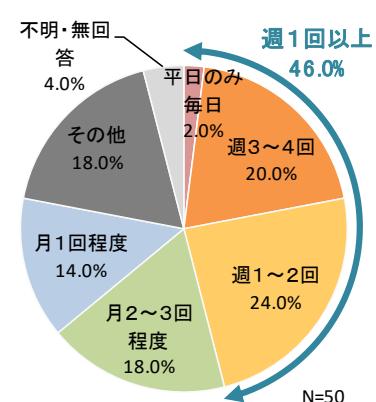
①外出頻度



【きのつバス】



【かもバス】

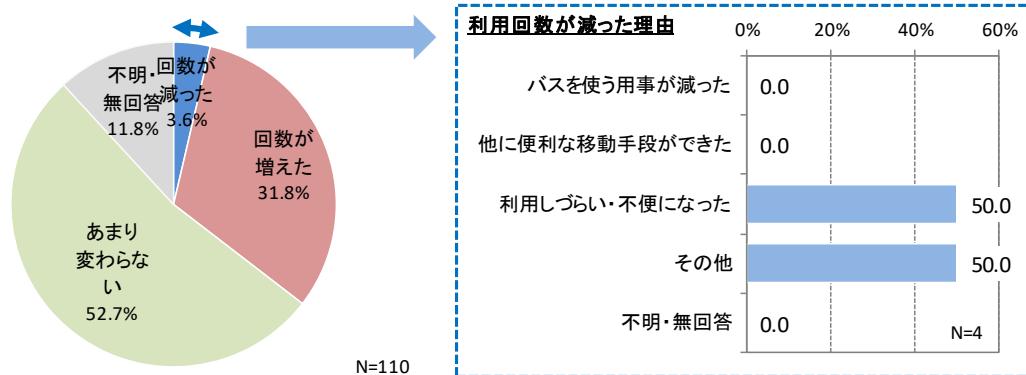


【やましろバス】

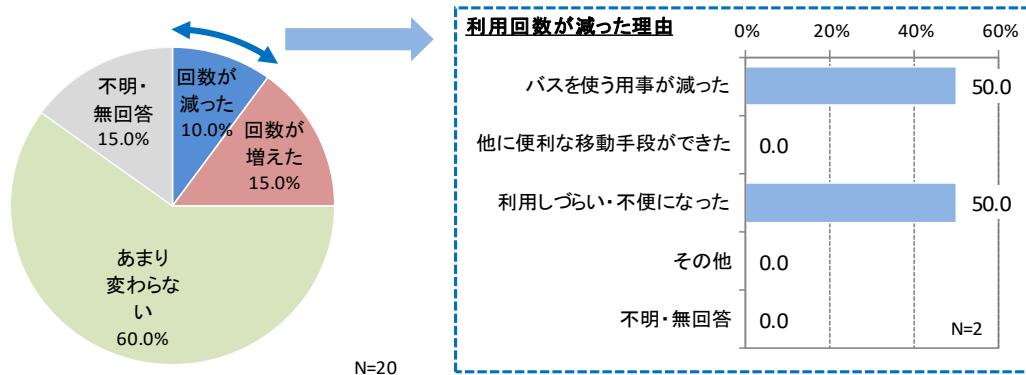
- 週に1回以上利用する割合が高く、利用者は習慣的にコミュニティバスを利用している。

②利用回数の変化

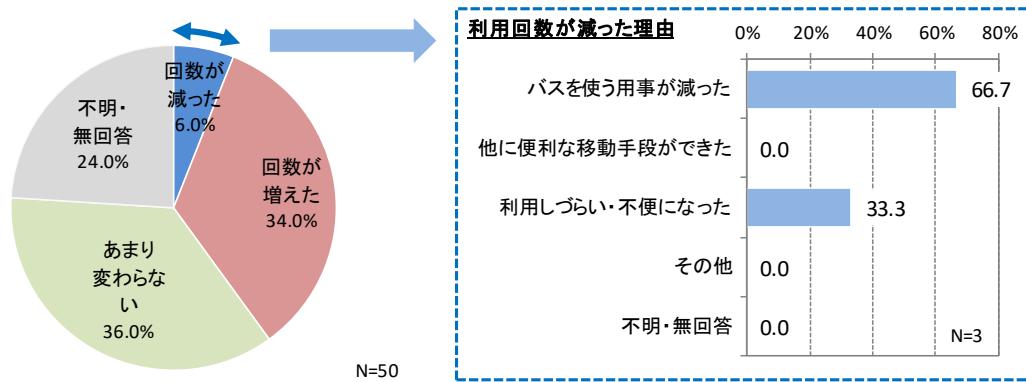
【きのつバス】



【かもバス】

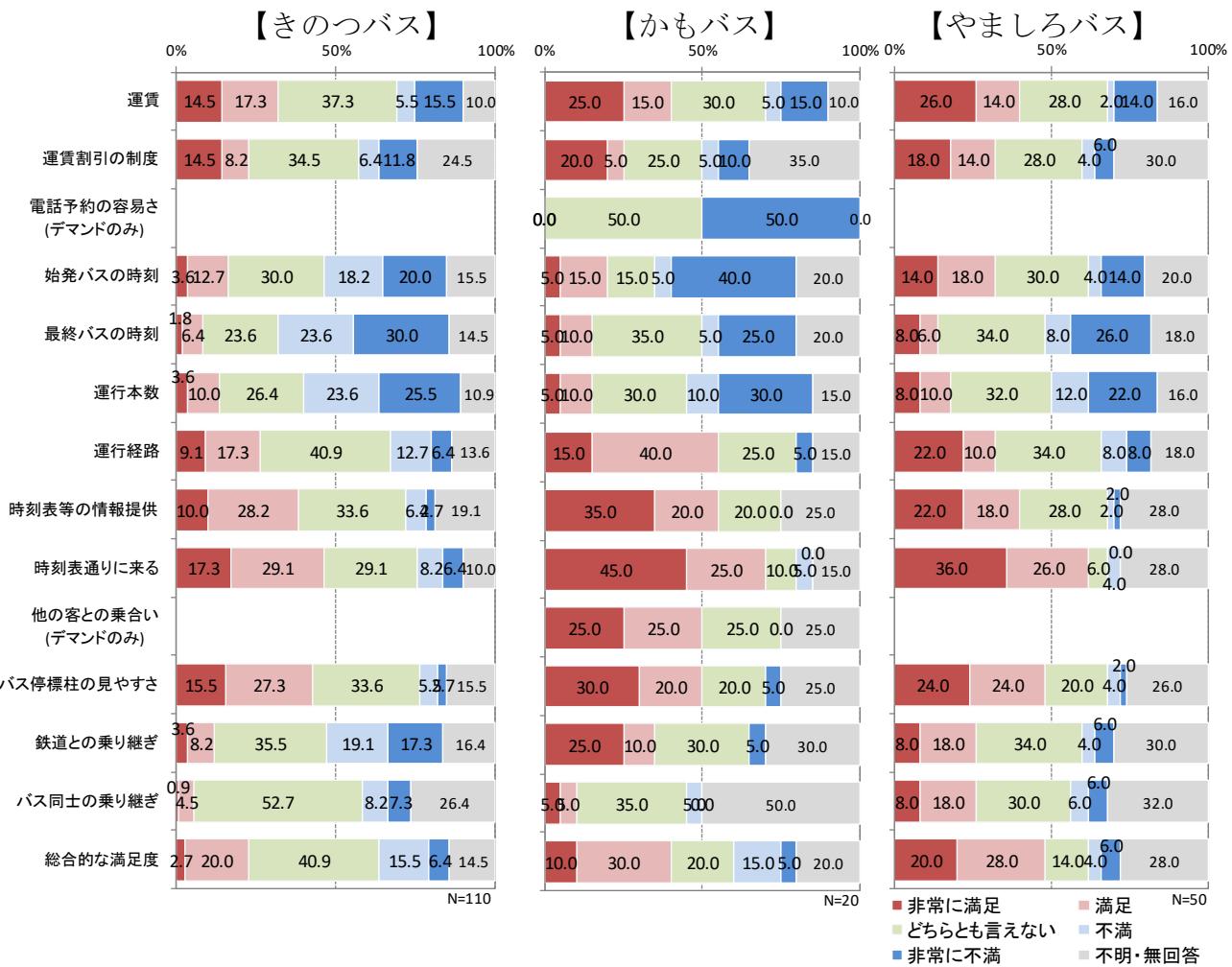


【やましろバス】



- 利用回数については「あまり変わらない」の割合が高いものの、「回数が増えた」が「回数が減った」を上回っており、一部コミュニティバス利用者は、以前に比べ利用頻度が上がっている。

(3) コミュニティバスの満足度



- ・コミュニティバス全路線において、総合的な満足度における「非常に満足」「満足」が「不満」「非常に不満」の割合より高くなっている。利用者からは一定の評価を受けている。

	利用者調査【満足度】	市民調査【満足度】
きのつバス	2. 9 7	3. 1 0
かもバス	3. 3 1	2. 6 7
やましろバス	3. 7 2	3. 1 6

- ・満足している点として「時刻表どおりに来る」「バス停標柱の見やすさ」「運賃」が、不満を感じている点としては、「最終バスの時刻」や「運行本数」の割合が高い。